

令和4年度 学校評価前期アンケート結果

1 アンケートの提出率について

生徒 例年通りほとんどの生徒がアンケートを提出している。

保護者 昨年度より提出率が低くなった。要因として3学年の提出率がとても低かった。

教員 昨年度より提出率が高くなったが、まだまだ提出率の改善が望まれる。

2 生きる力の育成について

生徒においては、当てはまるが昨年度より多くなったが、保護者や職員は昨年度より当てはまるが少なくなった。生徒と保護者が当てはまるとほぼ当てはまるで9割を超している。教員のあまり当てはまらないが昨年度より増えている。

3 学力の向上

生徒においては、当てはまるが昨年度より大幅に増えが、保護者と教員は昨年度より当てはまるが少なくなった。三者との当てはまるとほぼ当てはまるで9割を超している。

4 進路目標の実現

生徒においては、当てはまるが昨年度より多くなったが、保護者や職員は昨年度より当てはまるが少なくなった。生徒と保護者が当てはまるとほぼ当てはまるで9割を超している。教員のあまり当てはまらないが昨年度より僅かに減っている。

5 開かれた学校づくり

生徒と保護者においては、まったく当てはまらないが昨年度より増えている。教員においてはあまり当てはまらないとまったく当てはまらないが改善されている。

6 学校生活の満足度について

生徒と保護者とも昨年度の結果より満足度がわずかに高くなっている。

7 全体について

概ね、例年と比べると当てはまるよりやや当てはまるが多いような結果になった。生徒からはトイレ等の改善の要望、保護者からは通学時のマナーや新型コロナウイルスの対応についての意見があった。教員からは寮のエアコン設置等の意見があった。今後の課題として、保護者と教員のアンケートの提出率を向上させるように取り組みたい。